

富里市 小学校区別防災カルテ

<概況>

5 旧洗心小学校

地区の概況

[地形・地勢]

校区に存在する斜面と台地の面積は半々であり、東部に低地と山地斜面が分布する。西部は台地上に位置し主に農地利用されている。

[交通]

主要地方道富里・酒々井線が東西に走る。

[人口]

人口は8校区のうち1番少ない。年齢別人口割合をみると老年人口が市全体の割合より高い。

[建物]

1km²当たりの建物棟数割合は8校区のうち2番目に低く、市全体の平均の約半分である。木造老朽建物割合は38.3%である。

[避難施設]

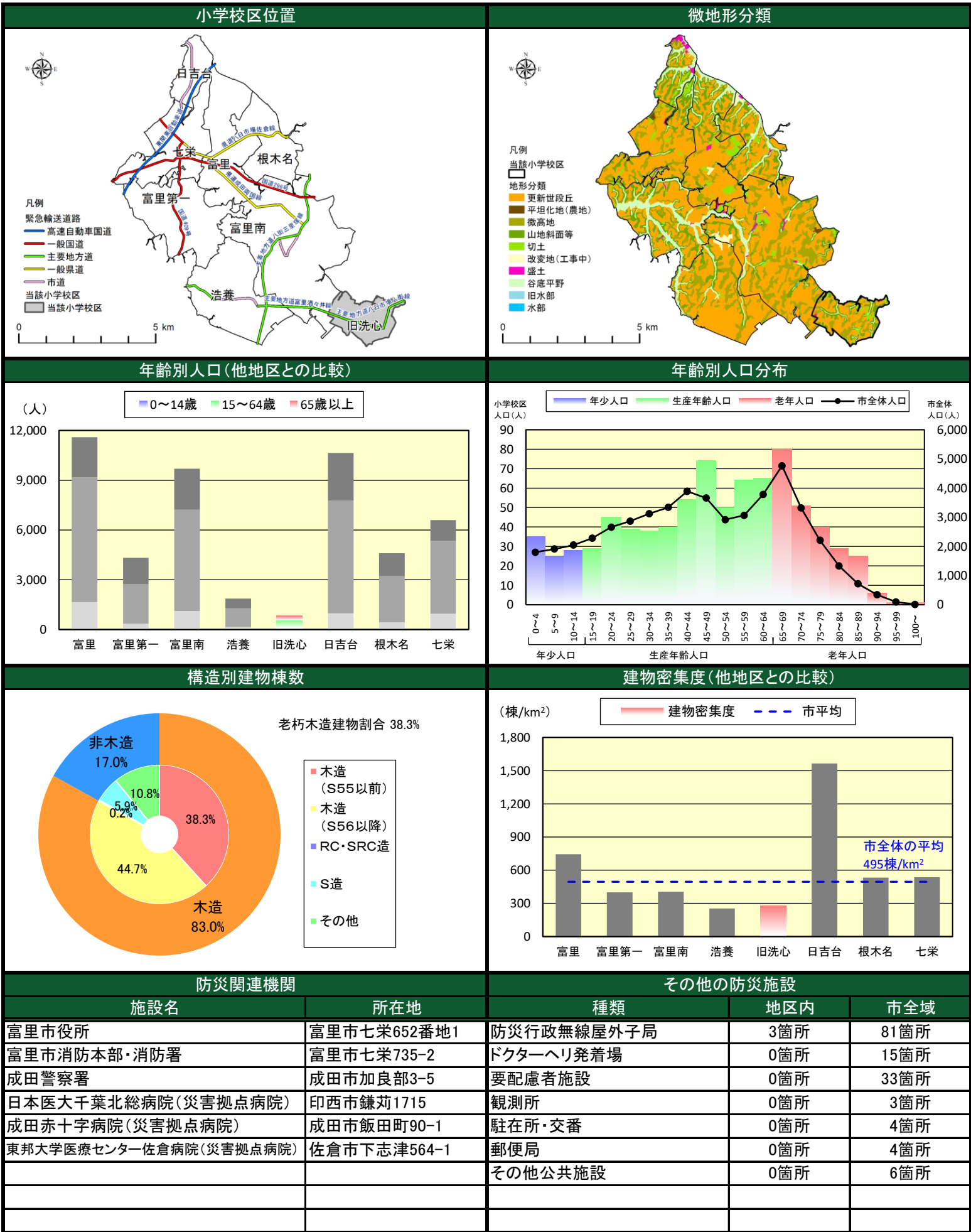
指定緊急避難場所は2箇所、指定避難所は2箇所(収容人数は614人)指定されている。

				小学校区(a)	市全体合計(b)	割合(a/b)	
面積				3.13 km ²	53.88 km ²	5.82%	
人口・家屋の分布状況	人口分布状況	人口		819 人	50,134 人	1.63%	
		人口密度		261.40 人/km ²	930.48 人/km ²	—	
		男女別人口	男	408 人	25,584 人	1.59%	
			女	411 人	24,550 人	1.67%	
		世帯数		303 世帯	22,654 世帯	1.34%	
		0歳以上～14歳		88 人	5,754 人	1.53%	
		15歳以上～64歳		498 人	31,569 人	1.58%	
		65歳以上～		233 人	12,811 人	1.82%	
		避難行動要支援者		182 人	10,851 人	1.68%	
		うち 一次名簿対象者		60 人	3,399 人	1.77%	
	うち 手上げ名簿対象者		122 人	7,452 人	1.64%		
	建物分布状況	建物棟数		865 棟	26,684 棟	3.24%	
		木造(S55以前)		331 棟	11,087 棟	2.99%	
		木造(S56以降)		387 棟	10,704 棟	3.62%	
RC・SRC造		2 棟	290 棟	0.72%			
S造		51 棟	1,513 棟	3.37%			
その他		94 棟	3,089 棟	3.03%			
密集度		276.08 棟/km ²	495.25 棟/km ²	—			

避難施設	種類			施設名称	収容人数(人)		
	指定緊急避難場所	指定避難所	福祉避難所		指定緊急避難場所	指定避難所	福祉避難所
	●	●		旧洗心小学校	1,682	169	0
	●	●		富里南中学校	6,287	445	0
収容人数合計				7,969	614	0	

注 一次名簿対象者は、要介護3以上の方、障がい者、外国人等、手上げ名簿対象者は、単身の高齢者、妊産婦等を示す。

避難施設の収容人数は、複数の小学校区にまたがる中学校の収容人数も、全体の値を記載している。



富里市 小学校区別防災カルテ

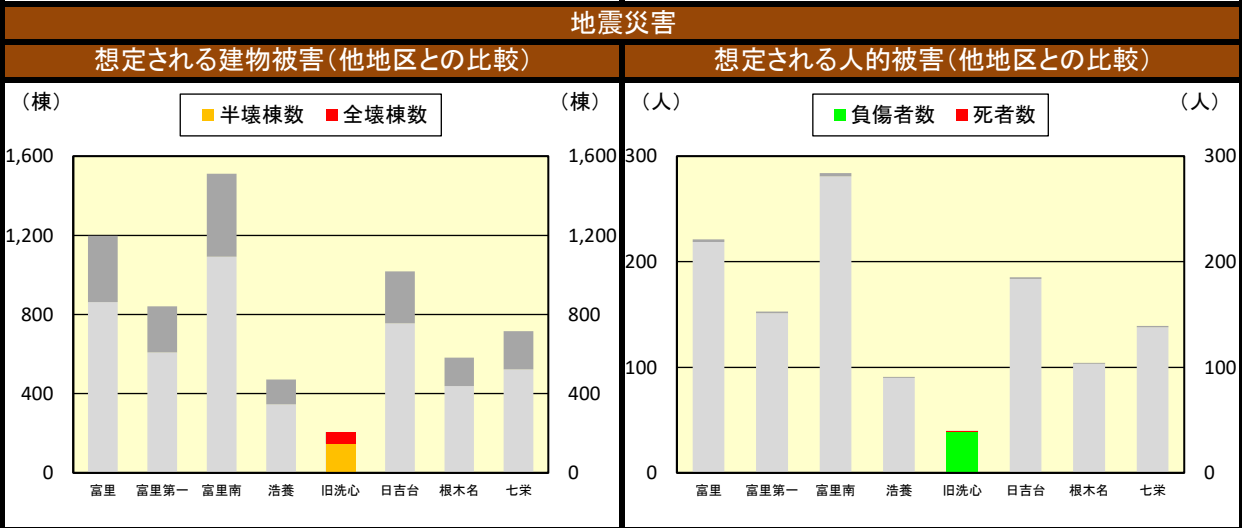
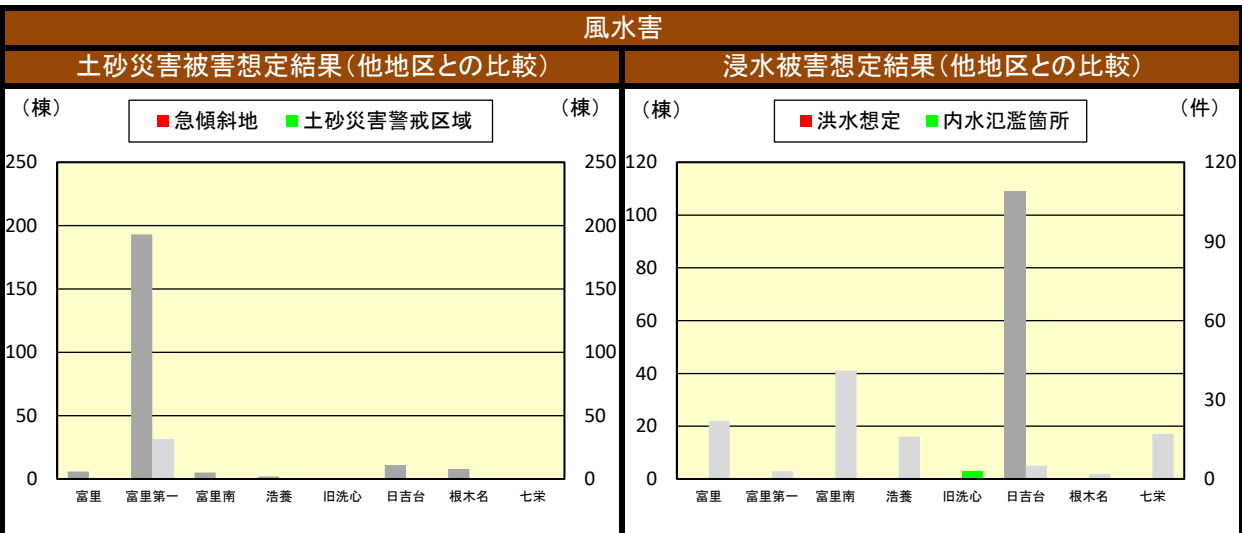
<結果>

5 旧洗心小学校

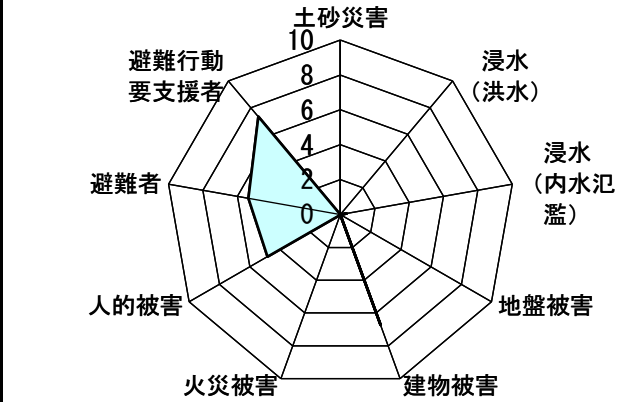
風水害					
土砂災害 結果被害		箇所数(箇所・地区)	重なる面積(ha)	避難の対象世帯数(世帯)	避難の対象者数(人)
	急傾斜地崩壊危険箇所	0	0.00	0	0
	土砂災害警戒区域	0	0.00	0	0
	うち特別警戒区域	0	0.00	0	0
	山腹崩壊危険地区	0	0.00	0	0
浸水 結果被害 想定	根木名川浸水(洪水)想定区域		内水氾濫箇所		
	小学校区(a)		市全体合計(b)	内水氾濫種類	小学校区(a) 市全体合計(b)
	浸水面積(km ²)		0.00 0.11	床上浸水(棟)	2 15
	浸水する建物数(棟)		0.00 109.00	床下浸水(棟)	1 94
	避難の対象者数(人)		0.00 332.49	道路浸水(箇所)	1 26

地震災害										
地震被害 想定結果		震度階級					液状化危険度			
		5弱	5強	6弱	6強	7	PL=0	0<PL≤5	5<PL≤15	15<PL
	面積(km ²)	0.00	0.00	3.13	0.00	0.00	2.45	0.00	0.68	0.00
	面積率(%)	0.00	0.00	100.00	0.00	0.00	78.16	0.00	21.84	0.00
	建物被害(棟, 出火件数のみ件)					人的被害(人)				
	小学校区(a)			市全体合計(b)	割合(a/b)	小学校区(a)			市全体合計(b)	割合(a/b)
	木造	全壊	55	1,751	3.15%	死者数		0	11	3.42%
		半壊	145	4,766	3.05%	負傷者数		39	1,190	3.30%
	非木造	全壊	3	60	5.25%	重傷者数		6	181	3.37%
		半壊	4	160	2.63%	避難者数		73	4,646	1.57%
	焼失棟数		0	7	3.08%	避難所避難者数		44	2,788	1.57%
	上水道断水人口(人)					下水道支障人口(人)				
	断水人口	小学校区(a)	市全体合計(b)	割合(a/b)	支障人口	小学校区(a)	市全体合計(b)	割合(a/b)		
		0	25,672	0.00%		0	1,053	0.00%		

注 地震被害想定結果の建物被害、ライフライン被害は、冬18時強風時、死傷者数は冬深夜強風時の結果
避難所避難者数、断水人口、下水道支障人口は、地震発生直後の結果

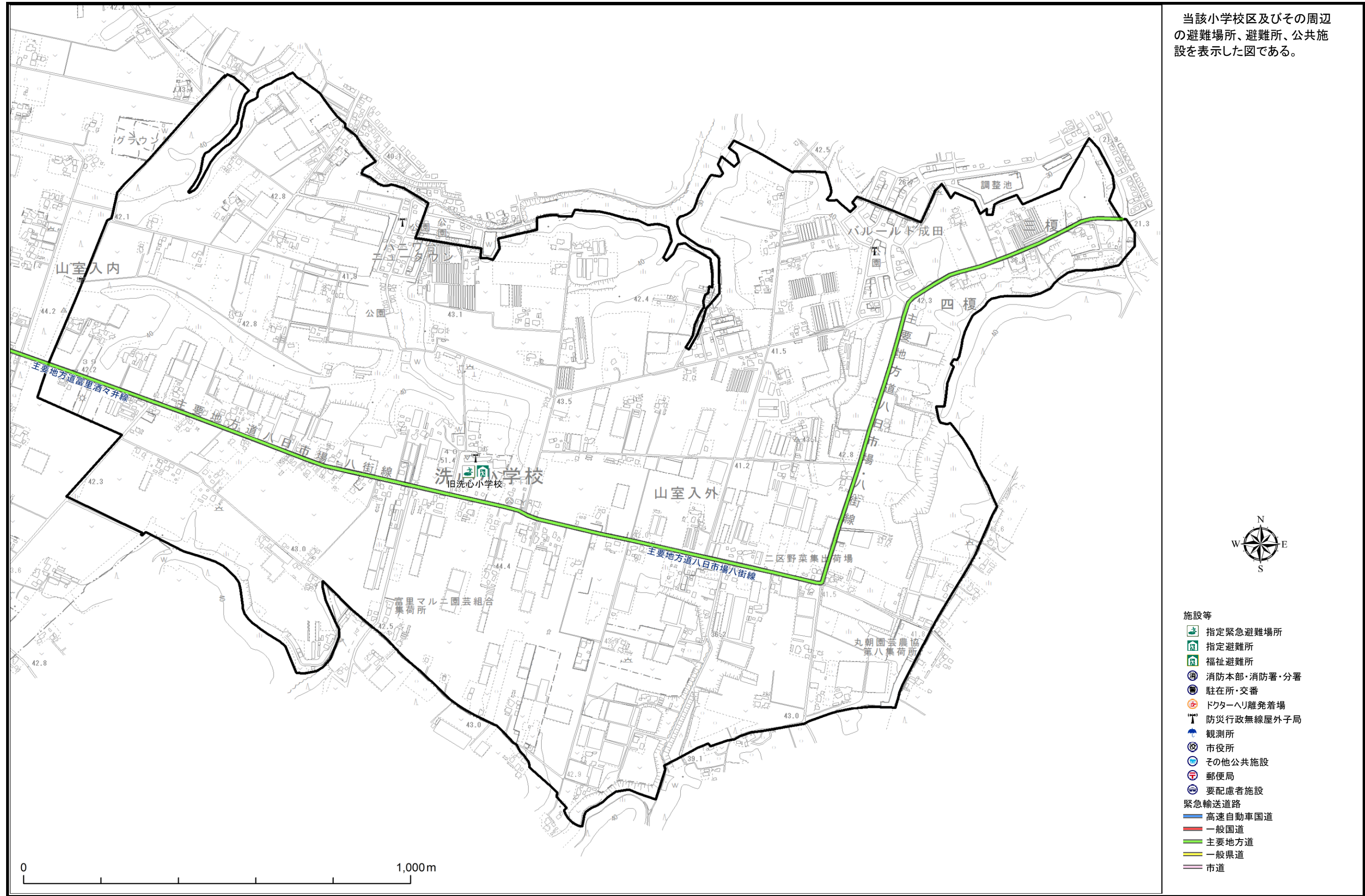


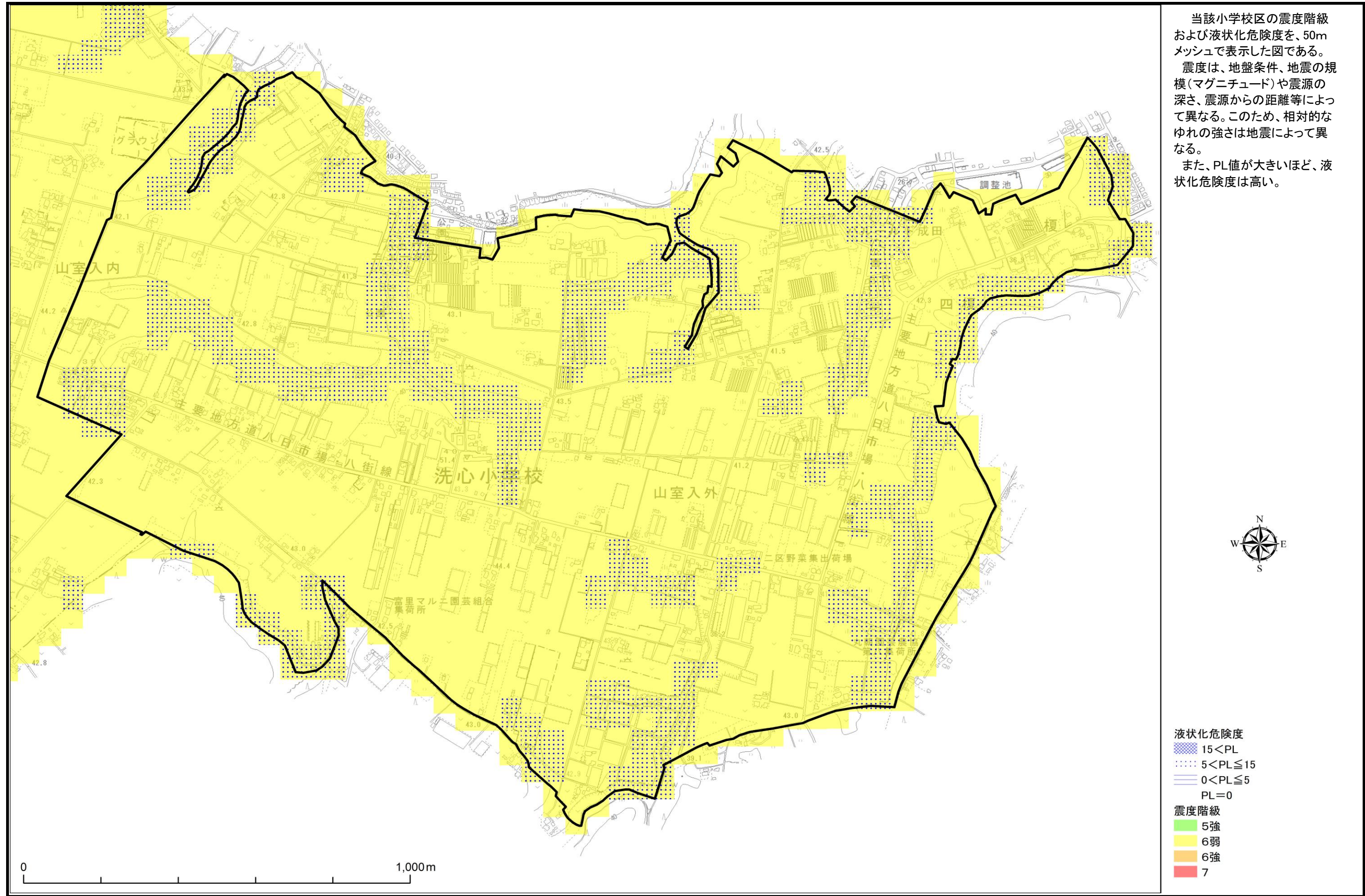
災害の種類		災害の評価(%)	数値	順位	評価指標
風水害	土砂災害	土砂災害の影響を受ける避難人口率 ※避難対象人数(人)/地区の総人口(人)	0.0	7/8	
	浸水(洪水)	洪水の影響を受ける避難人口率 ※避難の対象者数(人)/地区の総人口(人)	0.0	2/8	
	浸水(内水氾濫)	建物が内水氾濫の影響を受ける被害率 ※床上床下浸水合計棟数(棟)/地区全体建物数(棟)	0.3	5/8	
地震被害	地盤被害	液状化の被害面積率 ※危険度15<PL(m ²)/地区全体面積(m ²)	0.0	6/8	
	建物被害	地震による建物被害率 ※全壊棟数(棟)/地区全体建物数(棟)	6.7	4/8	
	火災被害	火災による建物被害率 ※焼失棟数(棟)/地区全体建物数(棟)	0.0	4/8	
	人的被害	地震災害による死傷人口率 ※死傷者数(人)/地区全体人口(人)	4.8	2/8	
	避難者	地震災害による避難人口率 ※避難所避難者数(人)/地区全体総人口(人)	5.4	4/8	
避難行動要支援者		避難行動要支援者率 ※避難行動要支援者数(一次名簿のみ)(人)/地区全体総人口(人)	7.3	4/8	

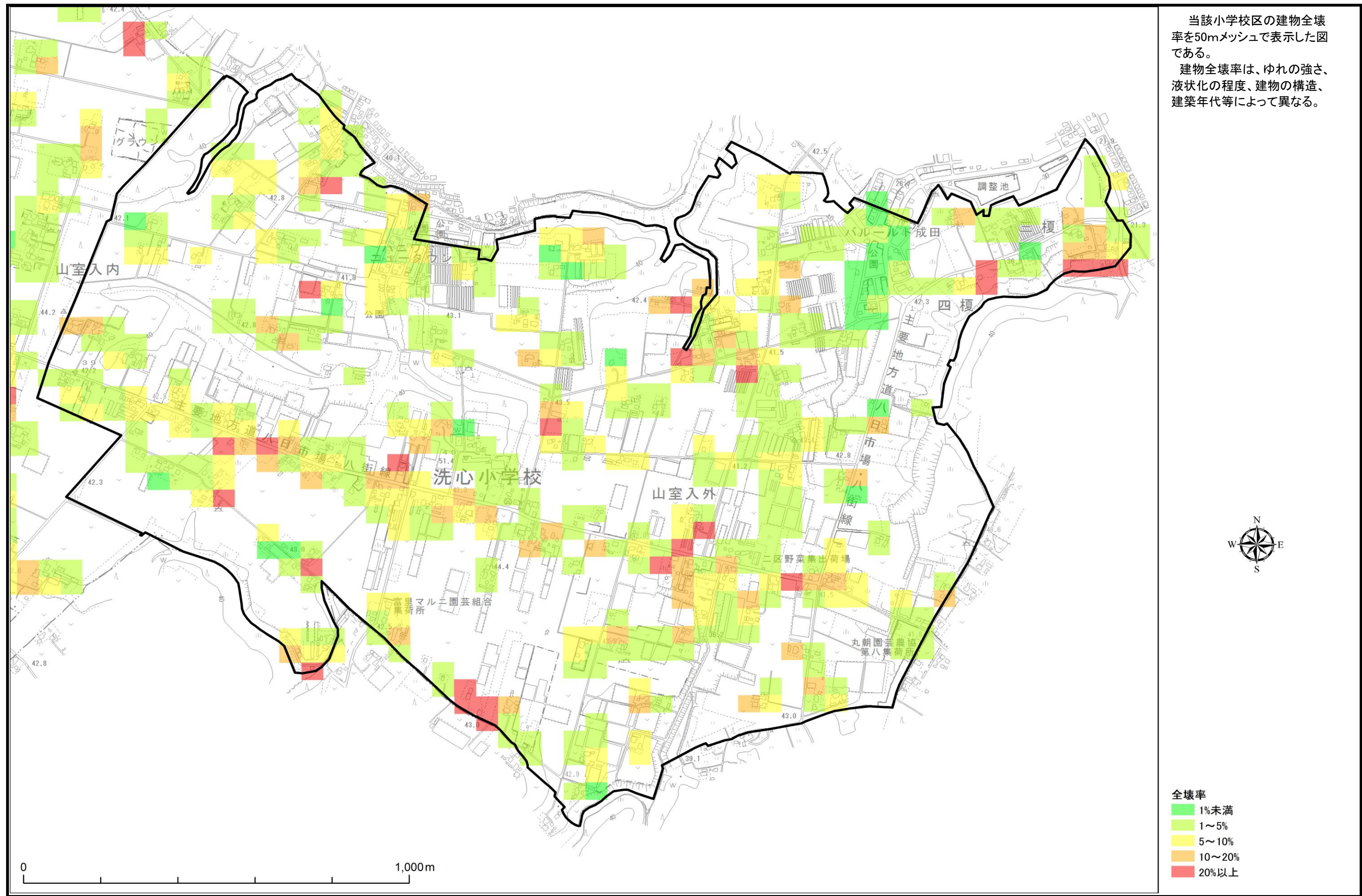


グラフの見方:
評価指標は、上記の災害の種類を、災害の評価に基づき、パーセンテージで表したものです。グラフの九角形面積が広いほど、地域が総合的に「災害に弱い」ことを示しています。

地区の災害特性		防災対策の方向性	
風水害	●内水氾濫の被害はあるものの、比較的少ない。 ●風水害による災害リスクは最も小さい。	風水害	●内水氾濫被害箇所は、雨水排水機能の強化が必要である。 ●大雨等による風水害に備え、日ごろから避難体制(特に要配慮者への支援)の整備を進める必要がある。
地震被害	●富里市直下の地震が発生した場合、全域で震度6弱の強い揺れが想定される。 ●低地では液状化の危険性があるものの、比較的影響は小さい。 ●建物の全壊率は4番目に高い。 ●死傷者率は2番目に高い。 ●校区の避難所避難者数は44人に対して指定避難所の収容人数は614人であり、収容力は十分である。 ●避難行動要支援者率は4番目に高い。	地震被害	●昭和56年以前の建物には耐震化や家具の固定等を行う必要がある。 ●日ごろから避難訓練への参加や家庭内備蓄を行う。 ●避難行動要支援者の割合が高く、避難時に支援が必要となる。







富里市 小学校区別防災カルテ

<風水害 浸水想定区域図(根木名川), 土砂災害の危険な箇所等>

5 旧洗心小学校

